

# 「プロとしての『プライド』を胸に 業務範囲を大きく広げる

## 仕事に対する考え方

常に誠実な対応を心がけ、取引先企業と信頼関係を構築することを最も重視しています。さもないと長年継続して仕事をいただくのは難しい。さらに独立したからにはすべて自己責任ということも肝に結んでいます。

## コミュニケーション能力

社労士の会合だけでなく、異業種交流会や起業家の集まりなど、とにかく様々な会合に出席し、人脈づくりに努めています。平均して週に3回ほど。夜のスケジュールの方が詰まっているくらいですね(笑)

## 得意とする技術力

社労士としての専門知識はもちろんですが、私の場合、それに加えて企業の人事部で9年間の実務経験がある。取引先企業の担当者がどこに苦勞し、何を求めているのか、お客さまの立場で考えられるのが強みです。

## クライアントの選び方

取引先企業のやりたいと思っていることに私自身が共感できるか、が第一です。社労士の仕事は人事や労務など「人」にまつわることだけに、その企業で働いている人のためにならないことに手を貸したくないからです。

## 仕事に対する気持ち

プロとして誇りが持てる仕事をするを心がけています。プラン一つにしても不完全なままでは絶対に出さない。自分の仕事を通じて世の中の幸福の総量を増やすことに貢献したい、そんな気持ちも強いですね。

## 1社専属独立を目指す読者へ

# MESSEGE

知識やスキルはもちろん大切ですが、実はそれらはある程度のレベルに達していれば大きな差がなかったりします。それより重要なのは人間関係を構築する力。実際、私が独立して仕事ができているのも、前勤務先の上司や同僚、仕事を通じて知り合った方々に信頼していただけいたからだと思います。あとは人脈を自分からつくるという意欲も大事。様々な人と知り合ううちに、いつしかネットワークができ、それが仕事にもつながってきます。

# 【社会保険労務士】

田代英治さん(44歳)

年収※約1000万円

## PROFILE

1961年生まれ。大学卒業後、大手海運会社に入社。営業や船給の船航管理、人事などを担当する。97年、社会保険労務士の資格を取得。2005年6月、独立して社会保険労務士事務所を開業。HP(<http://www.tashiro-sr.com>)。ブログ「人事労務屋のつぶやき」も好評。

**大** 手海運会社に20年勤務。そのうち通算9年、人事部に所属していた田代さん。97年には離職の社会保険労務士の資格を取得。以来、漠然と独立を考えていたものの、リスクの大きさに不安を覚えて踏み切れないでいた。

「しかし、いずれ人事以外の部署に移るとこのスキルが役に立たなくなる。ならば独立して腕を磨いた方が、という気持ちも年々、高まってきました」

昨夏、ブログで人事・労務関係の情報発信を始めたところ大きな反響が。これですます独立へと傾いていく。そこで上司に相談を持ちかけたところ思いがけない答えが返ってきた。

「ならば業務委託契約の形で、今の仕事を引き続き担当してほしい」と。私としては当面の収入が確保できる、ということも願ってほしい話だし、会社としても私が外部で新たに身につけるスキルを自社の仕事に還元できる。お互いにメリットがあったんです」

こうして今年6月、前勤務先と顧問契約を結び独立。現在は週3回、半日ずつ出社し、人事・労務を巡るトラブルの解決や、人事制度・企業年金制度の改変プロジェクトなどに携わる。

「業務内容はさほど変わりませんが、独立して『よりよい仕事をしなうては』という意識は確実に高まりました。プランを提出するにもプロのプライドにかけて中途半端なものを出せません」

一方で、前職時代から付き合いのあったコンサルティング会社など4社ともパートナー契約。企業セミナーや研修の講師、雑誌やメルマガの記事執筆などにも業務を広げている。「今後は人事コンサルティング会社を立ち上げ、世の中に貢献できる仕事をしていきたいですね」と意欲は増すばかりだ。